

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和元年の労働争議の状況を見ると、「総争議」の件数は268件、総参加人員は105,340人となっており、前年に比べ、件数は52件（16.3%）減、総参加人員は1,998人（1.9%）増となった。「総争議」の件数は、比較可能な昭和32年以降、最も少なかった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は49件、行為参加人員は17,763人となっており、前年に比べ、件数は9件（15.5%）減、行為参加人員は7,704人（76.6%）増となった。（第1表、第1図、附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成27年	425	174,043	86	76,065	23,286	339	97,978
28	391	69,533	66	52,415	15,833	325	17,118
29	358	132,257	68	72,637	17,612	290	59,620
30	320	103,342	58	51,038	10,059	262	52,304
令和元年	268	105,340	49	57,345	17,763	219	47,995
令和元年の 対前年増減数 (件・人)	△ 52	1,998	△ 9	6,307	7,704	△ 43	△ 4,309
令和元年の 対前年増減率 (%)	△ 16.3	1.9	△ 15.5	12.4	76.6	△ 16.4	△ 8.2

第1図 労働争議の種類別件数の推移

